

型式：PS1-10390-001

N-R3

メタルケーブル保守に ボンベ残圧警報発信装置

「ボンベ残圧警報発信装置 (LTE)」です。
N2 ボンベ (クリーンガスボンベ含む) の残圧測定に加え、小型 N2 ガス用減圧弁出口の圧力測定やクロージャの圧力測定もオプションの低圧圧力センサで可能です。
警報発信装置の通信方式は LTE 通信で、受信側は SMS 機能がある携帯端末となります。

AL 端子防水タイプ 改良品

警報受信メール

2023/ 9/ 5 15:10
09012345678

09/05 15:10 ID1234
HiP:03.4M(03.5M)x
LoP:63.7M(58.0M)o
AL1o2o Battery:Middle
ALARM!

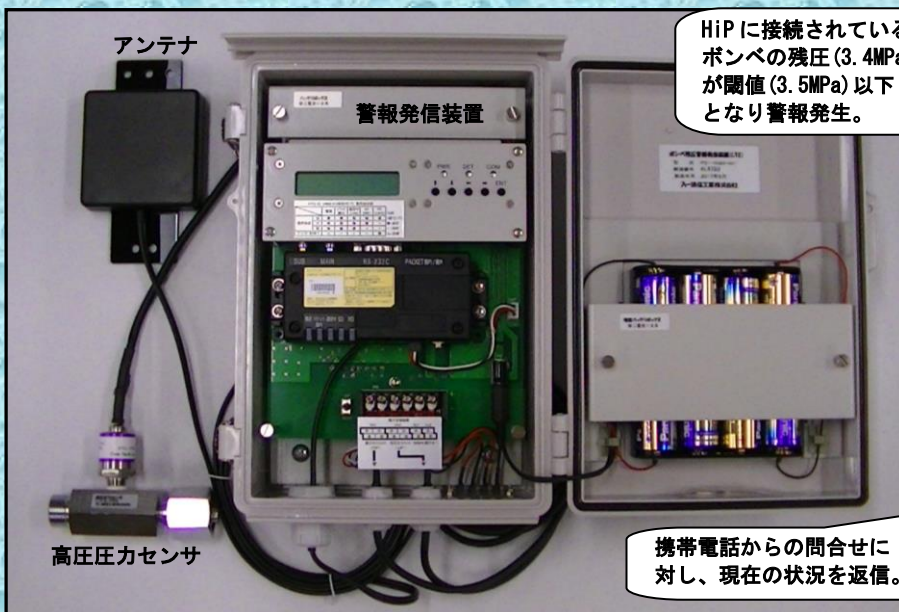
T:25.5deg.C RH:50%

問合せ返信メール

2023/ 9/ 6 10:00
09012345678

09/06 10:10 ID1234
HiP:13.7M(03.5M)o
LoP:63.7M(58.0M)o
AL1o2o Battery:Middle
Contact

T:24.3deg.C RH:48%



HiPに接続されている
ボンベの残圧(3.4MPa)
が閾値(3.5MPa)以下
となり警報発生。

携帯電話からの問合せに
対し、現在の状況返信。

ボンベ残圧警報発信装置 (LTE) の特徴

- ・ボンベ残圧警報発信装置 (LTE) は圧力センサと警報発信装置で構成しており、小型 N2 ガス用減圧弁に圧力センサを接続して窒素ボンベに接続するだけです。
- ・高圧圧力センサ (HiP) で読み取ったボンベ残圧と警報発信装置で設定した閾値を比較し、ボンベ残圧が閾値以下になると警報発信装置に登録したボンベ管理者 (2名登録可能) の携帯電話へ警報を通知します。
- ・オプション品の低圧圧力センサ (LoP) を使って小型 N2 ガス用減圧弁の出口圧力も測定できます。また、この機能を使ってクロージャ内の圧力のみを測定することもできます。
- ・警報監視は 10 分間隔と、きめ細かな監視を行います。
- ・警報発信装置は内蔵電池で概ね 3 ヶ月間使用可能です。(増設電池使用時。但し、周囲温度により異なる)
- ・データ受信時の SMS 画面は、測定した圧力と設定した閾値を数値で表します。
- ・問い合わせ返信間隔は、最短 10 分から 10 分単位で最長 90 分まで設定可能です。自動発信機能により、設定した時刻に問合せと同じ内容をボンベ管理者へ送信します。
- ・ALM 端子 (防水コネクタタイプ) を使って、オプション品の水位検知ポートスイッチを接続して水位警報の監視及び発信も可能です。(従来の端子台タイプの錆による影響を防水コネクタ (レクタ) 端子へ変更することにより解決しました)
- ・警報発信装置の操作画面 (LCD) のバックライト機能により、マンホール内でも画面確認が容易です。

※通信には NTT ドコモ LTE 対応の UIM カードが必要です。

製造元
お問い合わせ

入一通信工業株式会社 東京事務所
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2丁目12-10
PMOEX 日本橋茅場町306号室
電話 03(6661)2345
URL: <http://www.iriichi.co.jp>

